

応募期間を延長！農水省の若手とも意見交換

奥村組の見学会のご案内について応募期間を7月8日（金）まで延長し、その後、参加者を決定してご連絡します。なお、6月30日（木）までにご応募頂いた方については、早期に航空券等の手配が出来るよう7月1日（金）に決定し、ご連絡しました。

農業農村工学系の大学生のための技術研究所の見学会のご案内

(一社)土地改良建設協会

(一社)土地改良建設協会では、土木工学や農業農村工学の魅力を学生に伝えるために、(公社)農業農村工学会と連携して、農業農村工学系の学部・学科の学生に対して、会員企業の技術研究所の見学会を開催しています。

令和4年度の見学会は下記の予定です。参加を希望される学生は、1 住所、氏名、電話番号、2 大学名、現在所属の学部・学科名、及び学年、3 当見学会をご紹介いただいた教員名とその方法(授業で紹介、学科の掲示板に掲示、教員からのメールなど)、ただし、学会のLINE公式アカウントによる場合は、「LINEを見た」と記す、4 見学を希望する理由(簡潔に100字以内)、5 見学希望対象施設名(奥村組技術研究所又は安藤ハザマ技術研究所)を記して、7月8日(金)までに当協会(jigyodokaikyo.or.jp)宛に顔写真を添付の上、件名を「技術研究所見学会希望」としてメールしてください。

記

申込期間延長

- 1 奥村組 技術研究所(茨城県つくば市) 令和4年8月26日(金)
つくばエクスプレス つくば駅に13時に集合
(東京駅からは、JR山手線で秋葉原駅5分、秋葉原駅から
つくばエクスプレスでつくば駅まで約50分)

研究所見学の終了後、1については奥村組の技術者に農林水産省の若手技術者も加わり、意見交換会を開催します。

和やかな意見交換会ですので、民間、国、双方の技術者から率直なお話を聞くことができ、学科や専攻の選択、就職先の選択を考える上で貴重な機会となるものです(これまでの参加者の感想は、当協会のホームページで見ることができます)。

なお、解散は18時前後を予定しています。

また、見学会終了後、2週間以内に800字以内の感想等を提出することが条件となります(会誌「土地改良」等に掲載した場合には、5千円の原稿料を支給します)。

なお、旅費の支援として、当協会から、①東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、埼玉県管内の大学の学生に対しては2千円、②栃木県、群馬県、山梨県、静岡県管内の大学の学生に対しては5千円、③東北、北陸、東海、近畿農政局管内及び長野県管内の大学の学生には、1万円、④中国四国農政局管内の大学の学生には、1万5千円、⑤北海道、九州農政局、沖縄の管内の大学の学生には、2万円を支給します。参加人数は、1及び2とも各10～15名程度を予定しています。応募者多数の場合は、当協会で選考します。選考結果は、7月11日(月)までにメールでお知らせします。

なお、選考された学生がチケット等を手配した後に、新型コロナウイルス感染症対策等に関連して、見学会が延期となり、旅費のキャンセル料が発生した場合は、支援金の範囲内でお支払いします。

各施設の内容は、各研究所のHPを参照してください。

奥村組技術研究所 → <https://www.okumuragumi.co.jp/technology/>

安藤ハザマ技術研究所 → <https://www.ad-hzm.co.jp/tr/giken/>